

## 若手SEのための合意形成の基礎（4119188）

関係者が同じ土俵に乗り、納得感を得ながら合意形成を進めていくための「関係者の頭の中を整理して、議論できる状態に持っていくための手法」「結論の選択を促すための手法」を理解し、演習やケースを題材とした体験実践を通して体得することを目指します。

開催日時	2019年4月23日(火) 10:00-17:00
カテゴリ	業務遂行スキル <b>ヒューマンスキル</b>
講師	寺池光弘 氏 (デロイトトーマツリスクアドバイザー株式会社 シニアコンサルタント) ・独立系S I e rにて、システム開発・保守・運用、コンサルティングおよび人材開発に従事。 2021年4月より現職。 ・名古屋大学卒、英国レスター大学MBA。
参加費	J U A S会員/ITC : 33,000円 一般 : 42,000円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (日本橋堀留町2丁目ビル2階)
対象	業務経験数年の若手メンバー (情報システム部門・情報システム子会社、S I e r等) <b>初級</b>
開催形式	講義、グループ演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITCA認定時間	6

### 主な内容

#### <<受講者の声>>

- 100か0しか答えはないと思っていた。妥結案を考える訓練になった。
- 今まで使ったことのない手法を学べてよかった。また、マインドも非常に大切であるということも初めて知り、多くの気づきを得ることができた研修だった。
- 普段の業務にてユーザー部門との意見交換やヒアリング、要件定義といった場面で活用するスキルであり、大変役立った。
- グループワークがあり目に見えて分かりやすかった。明日から実践できそうな内容だったので実践したい。
- 明日から使用できそうなツールやロジックの紹介がありよかった。
- 合意形成は自身にとっての苦手分野であったが、講義と演習を通してコツをつかむことができた。
- 過去にうまくいかなかった体験の改善について、他社の方と検討できた。全く違う環境の方の意見がきけて良かった。

大事な会議、日々のちょっとしたミーティング。。。こんなことはありませんか？

- ・議論が空中戦になってしまう
- ・議論がかみ合わない
- ・問題解決のための合意形成が進まない

本コースでは、関係者が同じ土俵に乗り、納得感を得ながら合意形成を進めていくための

- ・関係者の頭の中を整理して、議論できる状態に持っていくための手法
- ・結論の選択を促すための手法

を理解し、演習やケースを題材とした体験実践を通して体得することを目指します。

ミーティングの生産性を上げたい、よりよい議論と合意形成を行いたい若手の方（会議を進める側、会議中に参加する側のどちらの立場でも有効です）におすすめのコースです。

## <<特徴>>

「分かる」だけでなく「出来る」を目指すために・・・

- ・研修スタイル>>>受講者参加型（講師からの問いかけ、グループ討議、全体討議・ナレッジ共有）
- ・業務への適用イメージを持てるように、振り返りの場を多く設定し、気付きを与えます
- ・実際の業務で頻出するシーンである「運用業務の効率化」などを題材に発言例を交えて演習。  
実践的な力が身につきます。

## <<内容>>

### (1) はじめに (Why)

- ・受講目的（必要性）の再確認
- ・現状の振り返り

### (2) 合意形成の基本 (What)

- ・合意形成の5箇条（フォレットの統合の概念）
  - ①自分の考えを強引に正当化することを避ける
  - ②議論に勝ち負けはない
  - ③根拠があいまいなまま合意しない
  - ④妥協や取引手段を採らない
  - ⑤お互いの相違点を明確にする
- ・論理的に議論するための基本手法  
「要約する」「確認する」「分解する」「結合する」「構造化する」

### (3) ケースを題材とした体験実践と相互フィードバック (How)

- ・演習
  - ①あいまいな表現を指摘し、具体的な内容に落とし込む
  - ②長い発言を指摘し、分かり易く要約する
  - ③あいまいなテーマを個別テーマに落とし込み、議論し易くする
  - ④運用業務の効率化に関するグループメンバーからの意見のとりまとめ
  - ⑤総合演習：コンセンサスゲーム ※チェックシートによる相互フィードバックあり

### (4) 振り返り・全体Q & A

- ・現場で意識的に実践するためのアクションプラン

## <<他の若手SEシリーズはこちら>>

- ◆入門編 2019年5月開催
- ◆入門編 2019年10月開催
- ◆プロセス分析編 2019年6月開催
- ◆合意形成の基礎編 2019年4月開催
- ◆ライティング編 2019年7月開催
- ◆ライティング編 2019年12月開催